

## 皆既日食 in 種子島

神 芳子

いつの頃からでしょうか、日本で皆既日食が見られる日を待ち焦がれるようになったのは・・・。

ハレー彗星は私が36歳になったら見られるという事が、小学校時代からの楽しみだったのは、今でもよく覚えています。でも皆既日食が日本で、というのを知ったのは、ずっと後になってからだったと思います。自分が生きている間に見られるなんて夢にも思っていないませんでした。それが見られるんだとわかった時のワクワクした気持ち！「長生きするぞ〜！」と思った事を思い出します。

時は過ぎ、天文協会の皆既日食ツアーに参加できるようになるなんて、ワクワクを通り越して夢を見ているような気分でした。友人も一人加えていただき、その日を指折り数えて待ちました。この夏はなかなか梅雨が明けず、心をよぎる不安。「でもまさかね〜、どんなに遅くても7月20日には明けたよね、今までは・・・」なんて必死で不安な気持ちを打ち消して。毎日週間天気を見ながら、「どうか22日の午前中だけ、種子島だけは晴れますように！」と祈る日々。そんな自分勝手な願いが叶えられるはずもなく・・・出発当日になっても梅雨はとうとう明けてくれませんでした。

しかし、大分駅に集合した皆さんと、大きくてきれいな観光バスを目にしたら一気にテンションが上がって、なんだか晴れそうな気がしてきて・・・現金なものです。鹿児島までは途中各地から参加する皆さんが停留所で乗ってきて、懐かしい方ともお会いできました。S.Aでの休憩を取りながらの長旅でしたが、事務局長さんのユーモアにとんだお話しや、隊長さんのこれまた楽しい、熊本、鹿児島案内で楽しませていただいて、長時間バスに乗ったという感覚は無く、もう鹿児島〜？という感じでした。

鹿児島港ドルフィンポートから、種子島行き的高速船《ロケット号》に乗りました。高速船に乗るのは初めて！時速80キロ出てましたが思ったほど揺れず、快調に飛ばして1時間半で種子島に到着しました。

種子島で見た夕日は、翌日の皆既日食は多分大丈夫じゃないかなあ、と思わせてくれたのですが～・・・。

宿泊先は〈グリーンホテル さかえ〉 民宿を思わせるお宿でした。夕食は品数多く、お野菜たっぷり、かつまいもでんぷんでできた珍しいおかずもありました。夕食後、お会いしたことが無い方も沢山いらしたので自己紹介をして、やっと、それぞれの関係と顔が頭に入りました。

私たちの部屋は女性4人部屋。若い方達とも話が弾み、皆でお風呂へ。就寝まではそれぞれくつろいで過ごしました。私はカメラの大先輩から日食撮影のコツと段取りを教えていただきました。できそうでもあり、難しそうでもあり、自信は持てませんでしたが、もしダメな時は潔く諦めて、目に焼き付けようと思いました。

そして22日皆既日食当日の朝、太陽は・・

出ていなかったのです (o´\_`o)ハァ・・・

でも気を取り直して朝食をいただき、望みをつないでバスで門倉岬へ出発です。門倉岬に着いても空はどんより。時折雨もぱらついていました。皆さん、カメラや望遠鏡を設定してもビニールをかぶせている状態です。まだ時間があるからそれまでに何とか・・・と空をずっと見上げていました。そうこうしているうちに気がつくど道路には観光バスがズラリと並んでいました！10数台は来てたでしょう。狭い岬に何百人の人が来ているという事ですね。広場にはテントを張って俄かのお土産物屋さんが開店していました。パッションフルーツが珍しくて、皆で試食しました。お味はちょっとキウイフルーツに似ていて、甘酸っぱかったです。記念に皆既日食タオルを買いました。

岬をあちこちまわったりしながら雲が切れるのを待ちますが、一向にその気配はありません。このまま時間が来てしまうのかなあ・・・もう欠け始めているよねえ、なんて考えながら、あきらめモードに。と、かなり欠けてるであろう時間に、一瞬太陽のあたりの雲が薄くなり、なんとなく大きく欠けた太陽がぼんやり見えるじゃないですか～！慌ててカメラのシャッターを切りました。皆さんも撮っています。同じようなチャンスが3回くらい。でもそれぞれほんの数秒くらいだったのかしら。後で見たら、「う～ん、これ太陽よね、欠けてる??よね？」みたいな写真でした。

そして皆既が近づくと、何となく少し暗くなったような気がしました。そう思ってから数分もしないうちにズンズンと暗くなって行って、ただでさえ厚い雲で薄暗かったのが、まるで夕方から夜の時間を早送りするように一気に真っ暗になってしまいました。私の眼にも皆既になったのがよ～くわかりましたよ。まるで夜！誰が誰やら分からないくらい暗さです。曇っていたとはいえ、想像以上の暗さにびっくり！でした。「あ～、この真上では今コロナが輝いてるんだな～！」と思うとすごい感動しました。コロナやダイヤモンドリングが見えなくても、です！！この真昼の闇の中に居れた事は、一生忘れないだろうなあ！と。必死で写真を撮る事もなくて、その分ずいぶん長い間暗闇が続いたような気がしました。地平線付近ではピンク色のきれいな夕焼け、鳥がバタバタと飛んで行き、ズラリ並んだバスの窓明かりがひと際目立ってきれいだったことなどを、しっかりと目に焼きつけました。

そして数分後、だんだんと明るさが戻ってきて、皆のTシャツの黄色の色が見えるようになり、皆既は終わったのでした。皆既日食を見られなかった事は残念だったけど、強烈な印象は残り、こんな体験もなかなかできないよね、と思った事でした。いえいえ、決して負け惜しみなんかじゃないですから。ね、皆さん！

午後は種子島宇宙センターへ行きました。ここもいつかは来たいと思っていた場所です。思っていたよりもずっと広く、きれいな所でした。施設の中をゆっくり見学して、ロケット打ち上げ基地を丘の上から見せていただきました。いつか絶対にロケットの打ち上げを見に来よう、と思いました。この後9月に打ち上げがあったんですよ。でも仕事で行けませんでした。残念！

宿に戻ってから、同室の4人で宿の近くを散策しました。地元ならではの物を何か

見つけようと、小さい商店や、スーパーマーケットに寄ってみました。ありました～！いろいろ珍しい物が。特にお菓子類。お値段も安くて。地元のスーパーは見るだけでも楽しいですね。いろいろお買い上げ～。私一人がまだ黄色のTシャツを着たままだったんですが、帰り道、地元の青年に声を掛けられて「そのTシャツいいですね、どこで買ったんですか？かわいいな」と聞かれまして。いや、私じゃなくてTシャツが、ですよ（笑）天文協会の日食Tシャツを褒められて嬉しかったですよ。

夕食は宿の外で焼き肉でした。ここでも地元の材料が。トビウオなど。ビールが飲めたらいいのになぁ、と思うのはこんな時ですね！私は飲めないのでここでも残念です。

この日の夜の、写真、ビデオ鑑賞会&飲み会？も楽しかったです。コロナやダイヤモンドリングが撮れていたら、どうなっていたでしょうね。あれ以上に盛り上がってたんでしょうか～？

3日目の朝、昨日とは打って変わって晴れ！でした。半日お天気がずれていたら、という事だそうです。残念でした。玄関先で隊長が望遠鏡で快晴の太陽を見せてくれました。あ～、この太陽が見たかったのに～、と悔しい気持ちになりました。で、せめて、とその太陽の写真を携帯で撮りました。

宿を後にして、お天気がいいからと、海によってくれることになり、とってもきれいなビーチに行きました。のんびりと思いつきの時間を過ごし、南の島の海を満喫しました。

そしてまた高速船で鹿児島へ戻り、待ってくれていた観光バスで帰路に着きました。帰りはずいぶん早く着いたような感じでした。予定よりも少し早く大分着。

楽しい、悔しい、でも大満足の皆既日食ツアーでした！  
事務局長さん、隊長、本当に楽しい旅をありがとうございました！  
皆さん、お疲れ様でした！



間もなく皆既・・・  
実際はずっと暗かった

皆既前、店先で



翌日の朝の太陽

使われなかったあれこれ・・・

